

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月28日

計画の名称	あらゆる災害に対応する岐阜市防災拠点整備計画（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和02年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岐阜市												
計画の目標	本計画は、県都の「災害時の司令塔」として非常時優先業務を確実に遂行するため、あらゆる災害を想定した高度で複合的な防災拠点を整備するものである。 また、平時には、隣接する「ぎふメディアコスモス」や「みんなの広場カオカオ」と一体となって「つかさのまち」を形成し、中心市街地のにぎわいの創出や回遊性の向上にも資する整備とする。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	22,105	A	22,105	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)
1	年間約225万人（岐阜市人口：41万人）もの人々が訪れる「つかさのまち」を都市防災や中心市街地の回遊性向上の拠点とする。 「つかさのまち」の来訪者を計測する。	1250000人／年	1250000人／年	2250000人／年
2	災害時には、職員1,600人が非常時優先業務を遂行できる環境を整備する。 大災害時に、庁舎内で非常時優先業務を遂行可能な人数（基礎免震構造の採用により、通常建築物の1.5倍の耐震性能を確保するとともに、必要となる職員の飲料水、非常食等を確保する）	0人	0人	1600人
3	1階の市民交流スペースを災害時の帰宅困難者の待機スペースに供し、100人以上の受入れを可能とする。 帰宅困難者の受入れ可能人数（スペースの確保に併せて、帰宅困難者用の飲料水、非常食等を保管する）	0人	0人	100人

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	岐阜市	直接	岐阜市	—	—	岐阜市防災拠点整備事業 (優良建築物等整備事業)	庁舎整備 約2.0ha	岐阜市	■	■	■	■		7,369	1.22	—
	A16-002	住宅	一般	岐阜市	直接	岐阜市	—	—	岐阜市防災拠点整備事業 (防災・省エネまちづくり緊急促進事業)	庁舎整備 約2.0ha	岐阜市	■	■	■	■		14,736		—
											小計						22,105		
											合計						22,105		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岐阜市内部調査	令和4年1月
	公表の方法
	岐阜市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>「ぎふメディアコスモス」や「みんなの広場カオカオ」と一体となって「つかさのまち」を形成し、目標値を上回る多くの人々が訪れた。 災害時に非常時優先業務を確実に遂行するため、免震建物内に災害対策本部室を常設するとともに、非常時優先業務を行う職員の飲料水や非常食等を備蓄した。 1階市民交流スペースを帰宅困難者の受入れスペースと定め、帰宅困難者の飲料水や非常食等を備蓄した。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	<p>「みんなの広場カオカオ」には多くのキッチンカーが出店し、「つかさのまち」の来訪者のみならず、コロナ禍の飲食店支援に寄与している。 また、コロナが収束した後は、さらなるにぎわいの創出が期待できる。</p>

○特記事項（今後の方針等）

本計画により、令和2年度末に本市の防災拠点（ハード面）を整備し、令和3年5月の開庁以降、運用（ソフト面）の整備として、常設した災害対策本部室を使用し、岐阜市総合防災訓練を実施した。今後も引き続き、発災時の迅速な災害対応ができるよう、更なる運用（ソフト面）の整備に努めていく。
また、コロナ禍において、十分感染症対策を行った上、庁舎とみんなの広場カオカオなどと一体となった各種イベント、「公共交通フェスタ」や「岐阜市防災フェア」が開催され、多くの人々が訪れた。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	「つかさのまち」の来訪者	
	最終目標値	2250000人／年
	最終実績値	2500000人／年
2	非常時優先業務の遂行可能人数	
	最終目標値	1600人
	最終実績値	1600人
3	帰宅困難者の受入れ可能人数	
	最終目標値	100人
	最終実績値	100人